

令和5年 沖縄県青年農業者等実態調査結果の概要

令和6年6月20日
沖縄県 営農支援課

本調査は、令和5年1月1日から12月31日までの間に、年間150日以上農業に従事した者（年の途中から新規に就農した者は150日以上従事すると見込まれる者）を対象に、市町村、沖縄県農業会議、（公財）沖縄県農業振興公社、農業大学校、農業改良普及センター及び農林高校から回答を得た数を集計したものである。

- ① **新規就農者** 18歳以上65歳未満で、調査対象期間内に新規に就農した者
- ② **青年農業者** 18歳以上45歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ③ **中高年農業者** 45歳以上65歳未満で、年間150日以上農業に従事している者
- ④ **新規学卒就農者** 学校を卒業し、他産業に従事せず就農した者
- ⑤ **Uターン就農者** 農家出身で、他産業を離職後就農、または在宅兼業から就農した者
- ⑥ **新規参入者** 非農家出身者、または、農家出身で自家以外に農地を取得し就農した者

※農業経営基盤強化促進法施行規則の改正に伴い、平成26年調査から「新規就農者」、「青年農業者」及び「中高年農業者」の年齢を下記のとおり変更している。

	(平成25年まで)	(平成26年から)
新規就農者	: 15歳以上65歳未満	→ 18歳以上65歳未満
青年農業者	: 15歳以上40歳未満	→ 18歳以上45歳未満
中高年農業者	: 40歳以上65歳未満	→ 45歳以上65歳未満

1. 新規就農者

(1) 県全体の新規就農者数の状況

令和5年の新規就農者数は305人となっており、前年の269人から36人増加となっている。

新規就農者のうち、青年農業者（45歳未満）は172人（56.4%）、中高年農業者（45歳以上）は133人（43.6%）となっている。

図-1 新規就農者数の推移(過去5年間)

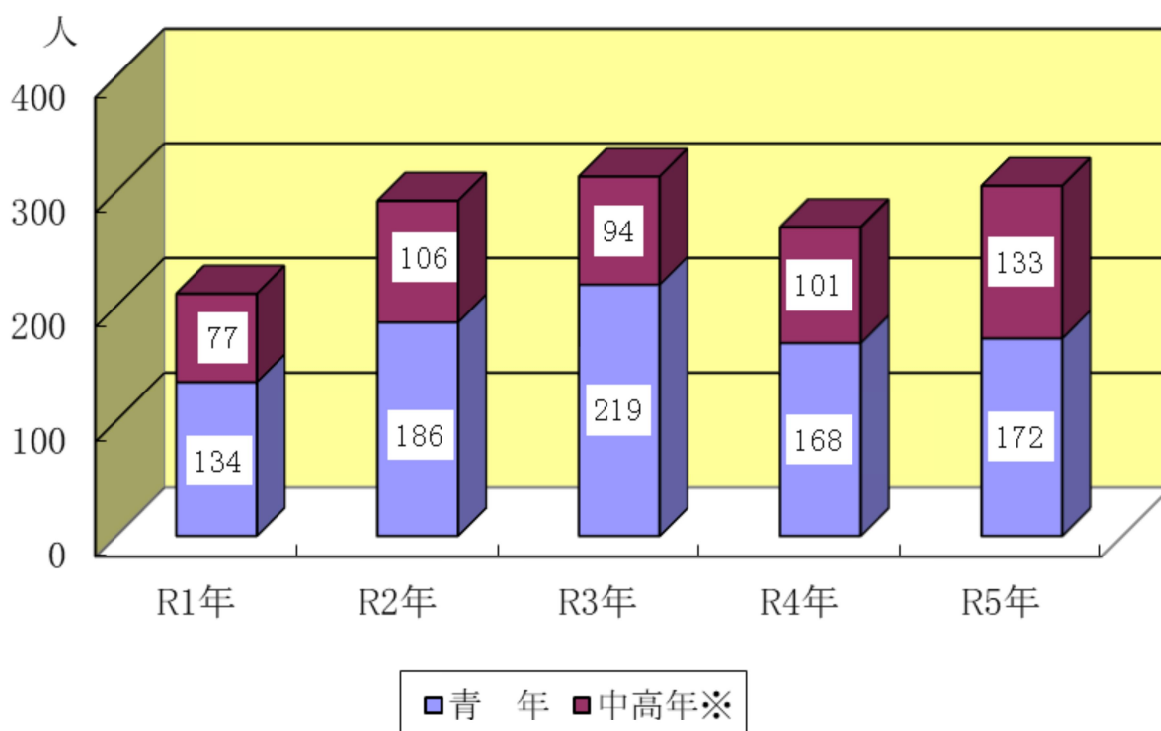


表-1 新規就農者の状況(県全体)

(単位: 人、%)

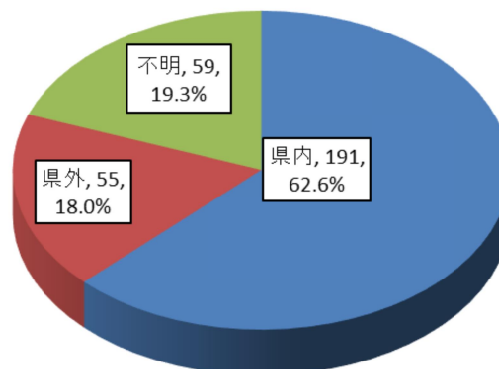
	R1年	構成比	R2年	構成比	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比
青年	134	63.5	186	63.7	219	70.0	168	62.5	172	56.4
中高年※	77	36.5	106	36.3	94	30.0	101	37.5	133	43.6
計	211		292		313		269		305	

※法人及び不明含む

(2) 新規就農者の出身地の状況

令和5年の新規就農者を出身地別に
 見てみると、県内出身者が191人(62.6%)
 県外出身者が55人(18.0%)、不明
 が59人(19.3%)となっている。

図-2 新規就農者の出身地の状況



(3) 新規就農者の就農類型別の状況

新規就農者の就農類型別では、新規学卒就農者(農業大学校を新規に卒業した中高年者を含む)が18人で全体の5.9%となっており、Uターン就農者が21人で6.9%、新規参入者が206人で67.5%、不明が60人で19.7%となっている。

図-3 R5新規就農者の就農類型

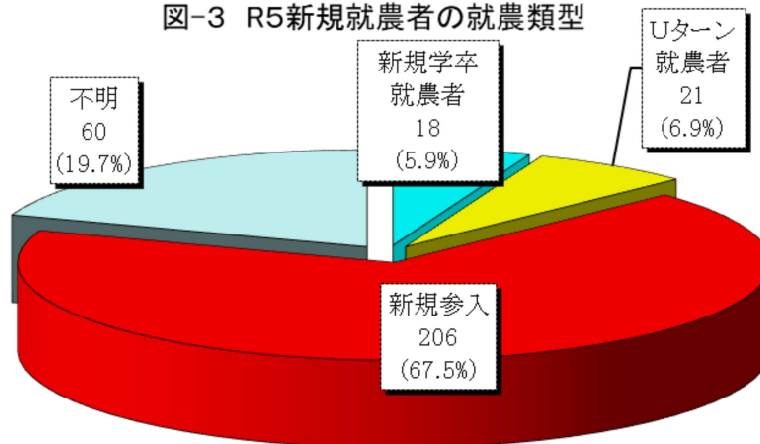


表-2 新規就農者の就農類型(過去5年間)

(単位:人、%)

	R1年	構成比	R2年	構成比	R3年	構成比	R4年	構成比	R5年	構成比
新規学卒	17	8.1%	14	4.8%	32	10.2%	22	8.2%	18	5.9%
Uターン	29	13.7%	33	11.3%	32	10.2%	49	18.2%	21	6.9%
新規参入	155	73.5%	163	55.8%	185	59.1%	152	56.5%	206	67.5%
不明	10	4.7%	82	28.1%	64	20.4%	46	17.1%	60	19.7%
計	211	100%	292	100%	313	100%	269	100%	305	100%

(4) 各地域別新規就農者数の状況

①北部地域

令和5年の新規就農者数は82人で、前年比5人の減少となった。北部地域の新規就農者が全体に占める割合は26.9%となっている。

②中部地域

令和5年の新規就農者数は65人で、前年比28人の増加となった。中部地域の新規就農者が全体に占める割合は21.3%となっている。

③南部地域

令和5年の新規就農者数は40人で、前年比12人の減少となった。南部地域の新規就農者が全体に占める割合は13.1%となっている。

④宮古地域

令和5年の新規就農者数は60人で、前年比8人の増加となった。宮古地域の新規就農者が全体に占める割合は19.7%となっている。

⑤八重山地域

令和5年の新規就農者数は58人で、前年比17人の増加となった。八重山地域の新規就農者が全体に占める割合は19.0%となっている。

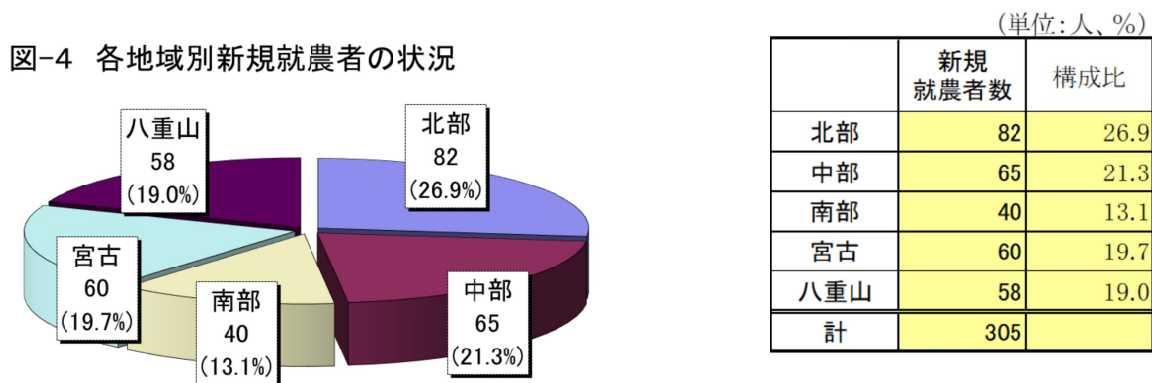


表-3 新規就農者の状況(各地域別)

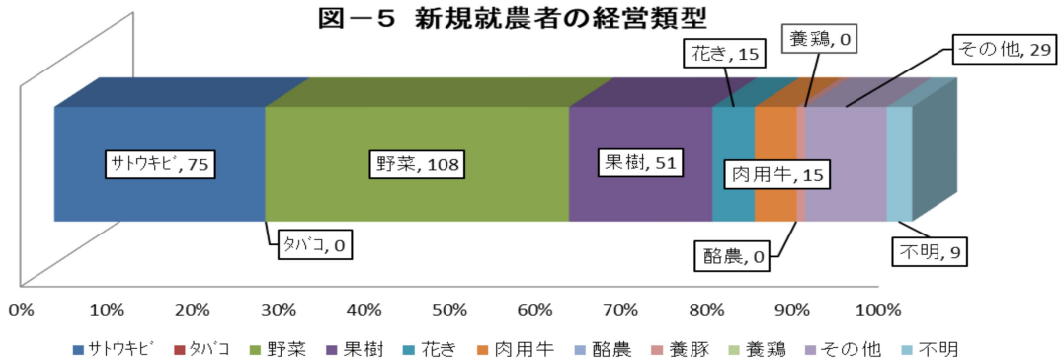
(単位:人、%)

		R1	構成比	R2	構成比	R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比	全体に占める割合
北部	青年	31	72.1	42	57.5	60	63.2	57	65.5	59	72.0	26.9
	中高年※	12	27.9	31	42.5	35	36.8	30	34.5	23	28.0	
	計	43		73		95		87		82		
中部	青年	16	55.2	29	76.3	23	63.9	23	62.2	32	49.2	21.3
	中高年※	13	44.8	9	23.7	13	36.1	14	37.8	33	50.8	
	計	29		38		36		37		65		
南部	青年	31	79.5	53	86.9	82	86.3	42	80.8	37	92.5	13.1
	中高年※	8	20.5	8	13.1	13	13.7	10	19.2	3	7.5	
	計	39		61		95		52		40		
宮古	青年	25	55.6	26	35.1	26	59.1	27	51.9	22	36.7	19.7
	中高年※	20	44.4	48	64.9	18	40.9	25	48.1	38	63.3	
	計	45		74		44		52		60		
八重山	青年	31	56.4	36	78.3	28	65.1	19	46.3	22	37.9	19.0
	中高年※	24	43.6	10	21.7	15	34.9	22	53.7	36	62.1	
	計	55		46		43		41		58		
全体	合計	211		292		313		269		305		

※法人及び不明含む

(5) 新規就農者の経営類型

県全体の新規就農者の経営類型では、野菜が108人(35.4%)で最も多く、さとうきびが75人(24.6%)、果樹が51人(16.7%)の順となっている。



(6) 各地域別新規就農者の経営類型

①北部地域

北部地域の新規就農者82人の経営類型は、果樹が28人(34.1%)で最も多く、次いで野菜が25人(30.5%)、さとうきびと花きが7人(8.5%)の順となっている。

②中部地域

中部地域の新規就農者65人の経営類型は、野菜が44人(67.7%)で最も多く、次いで果樹が9人(13.8%)、その他が5人(7.7%)の順となっている。

③南部地域

南部地域の新規就農者40人の経営類型は、野菜が22人(55.0%)で最も多く、次いで肉用牛が6人(15.0%)、さとうきびと花きが3人(7.5%)の順となっている。

④宮古地域

宮古地域の新規就農者60人の経営類型は、さとうきびが47人(78.3%)で最も多く、次いで野菜が5人(8.3%)、果樹が2人(3.3%)の順となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の新規就農者58人の経営類型は、さとうきびが16人(27.6%)で最も多く、次いでその他が15名(25.9%)、野菜と果樹が11人(19.0%)の順となっている。

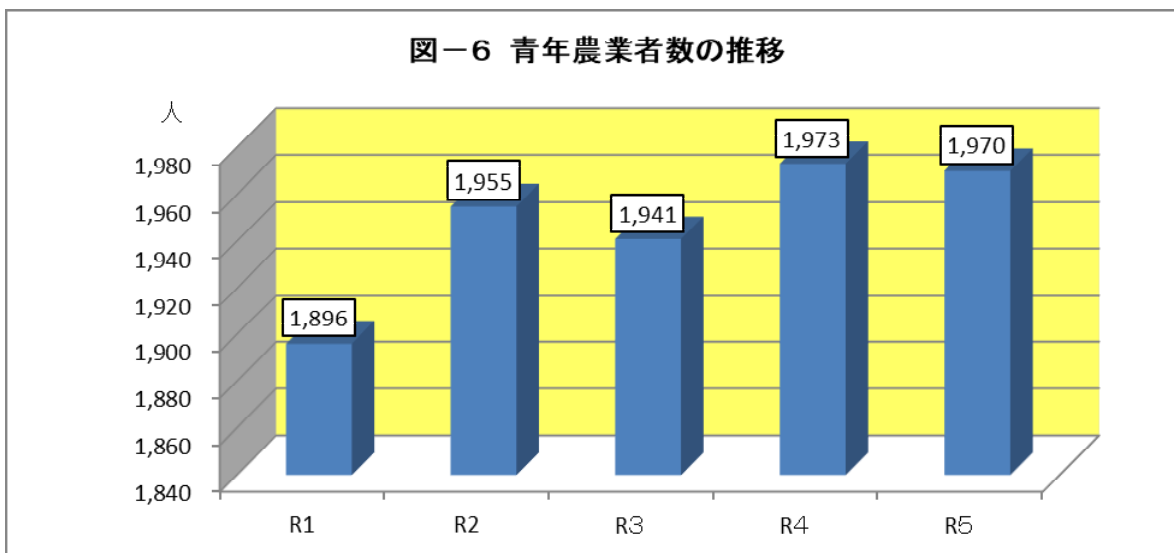
(単位:人、%)

	さとうきび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北部	7	0	25	28	7	6	0	2	0	7	0	82
構成比	8.5	0.0	30.5	34.1	8.5	7.3	0.0	2.4	0.0	8.5	0.0	26.9
中部	2	0	44	9	4	1	0	0	0	5	0	65
構成比	3.1	0.0	67.7	13.8	6.2	1.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	21.3
南部	3	0	22	1	3	6	0	0	0	3	2	40
構成比	7.5	0.0	55.0	2.5	7.5	15.0	0.0	0.0	0.0	7.5	5.0	13.1
宮古	47	0	5	2	0	0	0	0	0	0	6	60
構成比	78.3	0.0	8.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	19.7
八重山	16	0	11	11	1	2	0	1	0	15	1	58
構成比	27.6	0.0	19.0	19.0	1.7	3.4	0.0	1.7	0.0	25.9	1.7	19.0
合計	75	0	107	51	15	15	0	3	0	30	9	305
構成比	24.6	0.0	35.1	16.7	4.9	4.9	0.0	1.0	0.0	9.8	3.0	

2. 青年農業者

(1) 県全体の状況

令和5年の青年農業者数は1,970人となっており、前年の1,973人に比べ、3人(0.2%)の減少となっている。



(2) 各地域別の青年農業者の状況

①北部地域

令和5年の青年農業者数は512人で、前年比18人(3.6%)の増加となっている。

②中部地域

令和5年の青年農業者数は248人で、前年比15人(6.4%)の増加となっている。

③南部地域

令和5年の青年農業者数は560人で、前年比83人(17.4%)の増加となっている。

④宮古地域

令和5年の青年農業者数は307人で、前年比33人(9.7%)の減少となっている。

⑤八重山地域

令和5年の青年農業者数は295人で、前年比6人(2.1%)の増加となっている。

(単位:人、%)

	R1	構成比	R2	構成比	R3	構成比	R4	構成比	R5	構成比
北部	487	25.7	506	25.9	509	26.2	494	25.0	512	26.0
中部	198	10.4	225	11.5	224	11.5	233	11.8	248	12.6
南部	502	26.5	534	27.3	533	27.5	477	24.2	560	28.4
宮古	363	19.1	353	18.1	339	17.5	340	17.2	307	15.6
八重山	294	15.5	285	14.6	290	14.9	289	14.6	295	15.0
不明	52		52	2.7	46	2.4	140	7.1	48	2.4
計	1,896		1,955		1,941		1,973		1,970	

※構成比は小数点第2位で四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない値がある。

※不明者48人は、雇用就農後に転職または独立した者の内、追跡調査が困難だった者

(3) 各地域別・経営類型別の青年農業者の状況

①北部地域

北部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が164人(32.0%)と最も多く、次いで果樹が109人(21.3%)、花きが93人(18.2%)の順となっている。

②中部地域

中部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が99人(39.9%)と最も多く、次いで花きが56人(22.6%)、肉用牛が31人(12.5%)となっている。

③南部地域

南部地域の青年農業者の経営類型は、野菜が303人(54.1%)と最も多く、次いで花きが71人(12.7%)、肉用牛55人(9.8%)となっている。

④宮古地域

宮古地域の青年農業者の経営類型は、さとうきびが113人(36.8%)と最も多く、次いで野菜が87人(28.3%)、肉用牛40人(13.0%)となっている。

⑤八重山地域

八重山地域の青年農業者の経営類型は、肉用牛が87人(29.5%)と最も多く、次いでさとうきびが68人(23.1%)、果樹52人(17.6%)となっている。

	さとうきび	タバコ	野菜	果樹	花き	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	不明	計
北 部	23	12	164	109	93	64	1	6	3	28	9	512
構成比	4.5	2.3	32.0	21.3	18.2	12.5	0.2	1.2	0.6	5.5	1.8	26.0
中 部	5	0	99	24	56	31	5	2	4	8	14	248
構成比	2.0	0.0	39.9	9.7	22.6	12.5	2.0	0.8	1.6	3.2	5.6	12.6
南 部	28	1	303	41	71	55	23	5	11	12	10	560
構成比	5.0	0.2	54.1	7.3	12.7	9.8	4.1	0.9	2.0	2.1	1.8	28.4
宮 古	113	18	87	35	1	40	0	2	1	3	7	307
構成比	36.8	5.9	28.3	11.4	0.3	13.0	0.0	0.7	0.3	1.0	2.3	15.6
八重山	68	2	30	52	6	87	10	3	0	34	3	295
構成比	23.1	0.7	10.2	17.6	2.0	29.5	3.4	1.0	0.0	11.5	1.0	15.0
不 明	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	44	48
構成比	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	14.9	2.4
合 計	237	33	683	264	227	277	39	18	19	86	87	1,970
構成比	12.0	1.7	34.7	13.4	11.5	14.1	2.0	0.9	1.0	4.4	4.4	